



今月は、今年度初級郷育ゼネラリスト認定を受けた井上幸子さんです。

井上 幸子さん

郷育カレッジ開講当初から受講をしていますので、10年目にしてやっと初級ゼネラリストの称号をいただくことができました。まだこれから中級ゼネラリスト、さらに上級ゼネラリストへの道がありますが、あまり無理せずマイペースで頑張ることにします。

その間、郷育カレッジ運営委員としても参加させていただいております。何度も挫折しそうになりましたが、現在は平成25年度に予定されている郷育カレッジ10周年記念イベントの準備担当をしています。

また、福津市レクリエーション協会の会員でもあり、郷育カレッジでのレクリエーション講座の手伝いや、出前講座として市内の小中学校、各地の郷づくりイベントなどにもレクリエーションやフォークダンスをとおして参加させていただいています。

「自分自身が楽しみながら皆さんにも楽しんでいただく」、こんなことをモットーに郷育カレッジにも参加していくつもりです。



ボランティアハウス・ふくまの月替わり作品展に、お越しください。

◆「にこにこ展」

市民の皆さんから募集した作品展
10月2日(火)から10月30日(火)まで

開館時間 10:00～18:00

休館日 日・水曜日

問い合わせ ボランティアハウス・ふくま
☎42・9071

郷育カレッジ公開講座
参加者募集

カレッジ生はもちろん、市内外問わずカレッジ生ではない人も参加できます！土曜・日曜日や夜間なら受講できるというかた、この機会に試しに体験してみませんか？

捨てずに使う!? アオサ活用法

福津の海岸でも緑色のアオサをよく見かけます。このアオサを使って生活用品にしようという研究についてご紹介します。また、家庭で使用済みとなった食用油からロウソクを作ってみましょう。

- ◆日時 10月21日(日) 10:00～12:00
- ◆会場 市中央公民館 調理室
- ◆講師 福岡女子大学 教授 吉村利夫さん
- ◆定員 30人
- ◆参加費 1人100円(原材料費)



知ってよかった! 楽しく学べる学校の“いま”

「学校って変わってきたね～」という声を聴きますが、何がどんなふうに変わってきているのでしょうか?今の小学校の様子やこれからについて、分かりやすくお話しします。

- ◆日時 9月29日(土) 10:00～11:30
- ◆会場 市立図書館 研修室
- ◆講師 郷育カレッジ生 成清鉄男さん
- ◆定員 10人



課題解決に効く話し合いの手法

課題解決型として最も注目を浴びている手法がOST(オープンスペーステクノロジー)。大人数が同時に参加できるこの手法を体験して、その効果や活用できる現場について学びましょう。

- ◆日時 10月12日(金) 19:00～20:30
- ◆会場 ふくとびあ らくらくルーム
- ◆講師 NPO法人地域交流センター津屋崎ランチ 山口 覚さん
- ◆定員 10人

アサギマダラを観察しよう

わかたけ広場は自然の宝庫。毎年飛来するアサギマダラを見つけてみましょう。チョウや草花から子どもたちへのメッセージに耳を傾けてみませんか。

- ◆日時 10月14日(日) 10:00～12:00
- ◆会場 市中央公民館 視聴覚室・わかたけ広場
- ◆講師 環境ネットワーク虹 佐伯美保さん
- ◆定員 10人



申込方法 9月21日(金)から電話にて受付(土・日曜日、祝日を除く)。各講座、定員になり次第締め切り。
託児 あり(詳細は問い合わせください)。
申込・問い合わせ 市郷育推進課(津屋崎庁舎) ☎52・4969

のぞいてみました



カレッジの
講座風景

「干潟の生き物を見てみよう」

講師 農学博士 鬼倉徳雄さん

津屋崎干潟でいろいろな種類の生き物を観察しました。みんな泥んこになりながら生き物を探し、希少なカブトガニの幼生も発見できました。



受講者の声

夢中になって楽しみました。さまざまな生き物を見られて良かったです。この自然を守ってみたいと思いました。

「新しい話し合いの手法とほ何か」

講師 NPO法人地域交流センター津屋崎ランチ 山口 覚さん

あらゆる場面で重要になる対話や話し合い。進歩した手法を取り入れることでどのような効果があるか、話し合いの秘訣を学びました。



受講者の声

さまざまな世代の人たちとのアイデアの出し合いをしながら「共感」して決めていく作業が楽しかったです。充実度いっぱい講座をありがとうございました。

福岡女子大生記者がゆく!



▲作業のようす

私が初めて参加した活動は、宮司地区の松林保全活動でした。この地区では、松林を昔の姿「白砂青松」に戻すことを目標に、毎月第1日曜日に除草作業などが行われています。この活動を主催している宮司地区郷づくり推進協議会の安岡さんをはじめ、ボランティアとして参加している多くの皆さんが、暑い日も寒い日も丸となって松林を守り、育てています。

いくら刈っても生えてくる雑草や松を食い荒らす害虫など、どんな問題に直面しても、自分たちで何ができるかを考え、作業に取り組み、着実に松林を変えている皆さん。その姿は、何事も始める前から「自分にはできない」と諦めてばかりいた私に、できることを一つ一つやっていくことで目標に近付くことができるのだと気付かせてくれました。私も松林を保全している皆さんのように、諦める前にまず自分にできることを見つけ、努力を積み重ね、確実に変わっていきたくです。(坂井絵理)

ふるさとメッセージ



「郷育」の「郷」は、ふるさとや地域、自分たちの住んでいるところと考えています。そして「育」は、その地域によって育てられ、また地域を育てていく姿をイメージしています。

郷育推進課 ☎52・4969

平成24年度
郷育カレッジ全力疾走!

